

みずほCustomer Desk Report 2024/04/12 号(As of 2024/04/11)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	152.99
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	152.96	1.0740	164.30	1.2536	0.6507
SYD-NY High	153.32	1.0756	164.67	1.2578	0.6553
SYD-NY Low	152.76	1.0699	164.03	1.2511	0.6502
NY 5:00 PM	153.29	1.0726	164.40	1.2554	0.6538
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	38,459.08	▲ 2.43	日本2年債	0.2600%	0.0300%
NASDAQ	16,442.20	271.84	日本10年債	0.8500%	0.0600%
S&P	5,199.06	38.42	米国2年債	4.9514%	▲ 0.0206%
日経平均	39,442.63	▲ 139.18	米国5年債	4.6253%	0.0182%
TOPIX	2,746.96	4.17	米国10年債	4.5835%	0.0389%
ソコ日経先物	39,665.00	415.00	独10年債	2.4755%	0.0475%
ロンドンFT	7,923.80	▲ 37.41	英10年債	4.2010%	0.0540%
DAX	17,954.48	▲ 142.82	豪10年債	4.2570%	0.1570%
ハンセン指数	17,095.03	▲ 44.14	USDJPY 1M Vol	8.56%	▲ 0.50%
上海総合	3,034.25	6.91	USDJPY 3M Vol	8.69%	0.16%
NY金	2,372.70	24.30	USDJPY 6M Vol	8.85%	0.13%
WTI	85.02	▲ 1.19	USDJPY 1M 25RR	▲ 1.54%	Yen Call Over
CRB指数	295.55	▲ 2.31	EURJPY 3M Vol	8.38%	▲ 0.06%
ドルインデックス	105.28	0.04	EURJPY 6M Vol	8.67%	▲ 0.01%

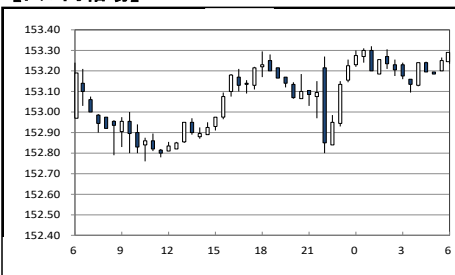
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
4月11日	10:30	中 PPI(前年比)	3月 -2.8%	-2.8%
	10:30	中 CPI(前年比)	3月 0.1%	0.4%
	21:15	欧 ECB主要政策金利	11-Apr 4.5%	4.5%
	21:15	欧 ECB預金ファシリティーレート	11-Apr 4.0%	4.0%
	21:30	米 PPI(前年比)	3月 2.1%	2.2%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	6-Apr 211k	215k

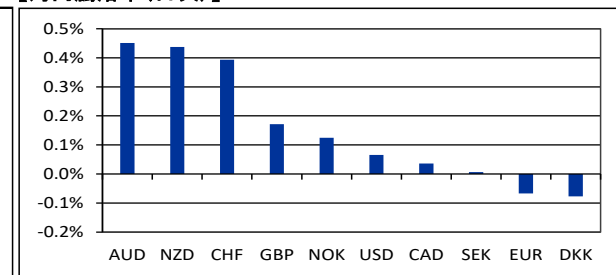
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
4月12日	13:30	日 鉱工業生産(前年比)・確報	2月 -	-3.4%
	15:00	独 CPI(前年比)・確報	3月 2.2%	2.2%
	15:00	英 鉱工業生産(前年比)	2月 0.6%	0.5%
	15:00	英 製造業生産(前年比)	2月 2.1%	2.0%
	15:45	仏 CPI(前年比)・確報	3月 2.3%	2.3%
	16:00	中 輸出(前年比)	3月 -1.9%	5.6%
	16:00	中 輸入(前年比)	3月 1.0%	-8.2%
	16:00	中 貿易収支	3月 \$69.10b	\$39.71b
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド・速報	4月 79	79.4
	01:00	米 カンザスシティ地区連銀総裁講演	-	-
	03:30	米 サンフランシスコ地区連銀総裁講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	152.00-154.00	1.070-1.080	164.00-165.00

【マーケット・インプレッション】

152円を超えたら介入という予想も一部ではあったが、昨日日本時間では財務官、財務相共に“口先介入”のみに収まった。つづく北米時間では「時間をかけることが賢明」「ごく近い将来の利下げ不要」「年内利下げ減る可能性も」とfed高官3名からタカ派なコメントが相次いだ。

本日のUSD/JPYは高値圏での推移を想定。こことも152.00をキャップし、レンジ相場を形成してきた要因の1つである為替介入は153を超えても発動されず。他方、米国は3月CPI上振れ、金利上昇、Fed早期利下げ観測の後退に面している。USD/JPYは連日高値更新となっているが、介入を除けば円の買い持ちを作る理由は乏しく、下落調整というよりは高値圏での推移を想定しておきたい。

東京	東京時間のドル円は152.96レベルでオープン。前日の米CPIを受けた円の急落から、朝方から神田財務官、鈴木財務相ともにあらゆる手段を排除せず適切に対応するとの牽制発言が聞かれたが、市場の反応は薄く、底堅く推移。午前中に152.76を付けたあとは米金利の上昇に伴いドル買いとなり、再び153円台に入り153.08レベルでロンドンに渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、153.08レベルでオープン。昨日のドル買いが一服し153円台で小動き。ほぼ変わらない153.08レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.0738レベルでオープン。ECBの政策発表を午後控えて様子見ムード。ややユーロ安の1.0729レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は153円台前半でスタート。152.76まで下落する場面も見られたが、その後は米金利の上昇を横目に反発し、153.08レベルでNYオープン。朝方に発表された米3月PPIが予想を下回った事や、米失業保険継続受給者数の結果が予想より悪化した事が嫌気され、市場はドル売りで反応し、152.80まで値を下げる。しかし、その後は低下していた米金利が再度上昇する展開に買い戻しが入り、153.32まで値を戻し、連日の年初来高値を更新。午後は買い一巡となり、153.10付近まで小幅反落。終盤は153.20近辺を中心とした推移が続き、153.29レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.07台前半でスタート。ECB4月理事会の結果発表を控え、1.0740近辺を挟んだ狭い値動きが続き、1.0729レベルでNYオープン。朝方はECB4月理事会の結果が発表され、5会合連続で主要政策金利を4.50%で据え置いた。同時に発表された声明文では、「インフレが持続的に目標に収れんしているとの確信をさらに強めるものであれば、現在の金融政策の制約レベルを下げるのが適切になる」等との文言から、売りがやや先行。続いて行われたカール・ ECB総裁の記者会見では「労働市場の逼迫は徐々に緩和し続けている」等とのハト派寄りのコメントが多く見られた。しかし、記者会見とほぼ同時に発表された弱い米PPIの結果を受け、1.0757まで反発するも、その後は米金利が再度上昇する展開が重しとなり、1.0699まで反落する等神経質な値動きが続く。午後は買い戻しが入り、1.0730近辺までじりじり戻し、その後1.0726レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。